

グローバル企業としての役割

日産は、国際社会の一員であることを常に認識しています。私たちは、最高の商品を提供するだけでなく、安全性や環境保全などの分野でも最高水準を目指し、社員が働きその家族が生活する地域社会全体に貢献していきたいと考えています。

豊かな社会をつくる手助けを

企業市民として果たすべき役割

当社は、国際社会の一員として、事業展開をしている地域社会と全世界に貢献するため幅広く活動を展開しています。

ミシシッピ州キャンプトンの新工場建設を機に設立された日産ミシシッピ奨学金プログラムは、地域社会と協力した社会活動のひとつで、2002年には第一回奨学生4名が選出されました。

この奨学金プログラムには、若者の教育・生活レベル向上の手助けをしたいという当社の思いが込められています。また2002年度で5年目を迎える日産NPO奨学金制度は、文化・芸術、教育、国際交流、環境保全など、15分野の非営利団体(NPO)で活動する機会を日本の大学生や大学院生に提供しています。さらにスペインのカタロニア工科大学(UPC)に自動車の技術



日産ミシシッピ奨学金プログラムの2002年度奨学生4名と、エミール・ハッサン北米日産取締役副社長(左端)とロニー・マスグローブ州知事(右端)



日産-NPOラーニング奨学金の授与式

革

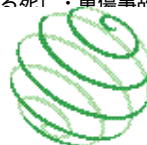
新をテーマにした講座を設立し、自動車産業における技術革新や経営改革などを広める努力をしています。

ドイツでは、旧東ドイツ領内各州から将来を担う若者が流出するのを防ぐ政策を支援しています。157のディーラーの協力により運営されるこのプログラムは、16歳から20歳の若者200名を研修生として受け入れ、自動車の整備技術や販売・管理のノウハウを学ぶ機会を提供しています。

また米国では、当社はオンライン・マガジン diversityinc.comにより「最も多様性のある企業トップ50」に選出されました。このランキングは、米国内で活動する大手企業の雇用、経営、社会貢献などを多様性という観点から分析した結果をまとめたものです。

安全への取り組み

日産車が関わる死亡・重傷事故の数は日本において年々減少しています。



当社は、**NISSAN GREEN PROGRAM** ではなく、社会のニーズに合わせた日産車の提供を目指しています。当社の目標は、1995年比で日産車の関わる死亡・重傷事故を半減することです。日産の安全への取り組みはこれからも続きます。

環境保全への取り組み

日産は、環境保全への着実な取り組みは健全なビジネスの実践に欠かせないものと信じ、この企業市民としての責任を果たしていきます。